

2025 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社トリドールホールディングス
(コード番号 3397 東証プライム市場)
代 表 者 名 代表取締役社長 栗田 貴也
問 合 せ 先 取締役 兼 CFO
兼 ファイナンス本部長 山口 聡
電 話 番 号 03-4221-8900

通期連結業績予想と実績値との差異および減損損失に関するお知らせ

2024 年 11 月 14 日に公表した 2025 年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値との差異が生じたこと、および減損損失を計上することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績値との差異

(1) 2025 年3月期通期連結業績予想と実績値との差異 (2024 年4月1日～2025 年3月 31 日)

	売上収益	事業利益 (注1)	営業利益 (注2)	税引前 利益	当期利益	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	265,000	17,300	11,600	10,200	5,400	4,900	51.71
実績 (B)	268,228	18,205	8,674	5,332	2,188	1,874	16.95
増減額 (B-A)	+3,228	+905	△2,926	△4,868	△3,212	△3,026	
増減率 (%)	+1.2%	+5.2%	△25.2%	△47.7%	△59.5%	△61.8%	
(ご参考) 前期実績 (2024 年3月期)(注3)	231,952	14,289	11,389	10,551	5,987	5,459	58.21

(注1) 事業利益: 売上収益－売上原価－販売費及び一般管理費

(注2) 営業利益: 事業利益－減損損失＋その他の営業収益－その他の営業費用

(注3) 2025 年3月期において、2024 年3月期において行った企業結合に係る暫定的な会計処理の確定に伴い、2024 年3月期の連結財務諸表を遡及修正しております。

(2) 通期連結業績予想と実績値との差異の理由

2025 年3月期通期の業績については、売上収益は前回発表予想の 2,650 億円から 1.2%増加し、2,682 億 28 百万円、事業利益は 173 億円から 5.2%増加の 182 億 5 百万円であり、いずれも過去最高となりました。丸亀製麺セグメントは原材料費、人件費および水道光熱費の増加分を増収で吸収し、過去最高となりました。一方、国内その他セグメントは出店に伴う費用の増加などもあり、ほぼ横ばいとなりました。海外事業セグメントにおいては、一部地域の市況悪化などの影響もあり、減益となりました。

また、この市況悪化に伴う海外事業セグメントにおける不採算店舗およびのれんの減損等により、減損損失として 80 億 66 百万円を計上し、営業利益は前回発表予想の 116 億円から 25.2%減少の 86 億 74 百万円となりました。

さらに、連結子会社 Tam Jai International Co. Limited の完全子会社化および非上場化に向けた株式等取得資金に関連したグループ内外貸付金等において為替差損が発生したことに加え、海外の持分法適用会社の株式評価損 13 億 78 百万円等を計上した結果、親会社の所有者に帰属する当期利益は前回発表予想の 49 億円から 61.8%減の 18 億 74 百万円と減益となりました。

(単位：百万円)

売上収益	2025 年 3 月期 実績	2025 年 3 月期 計画 (注4)	計画比	
			増減額	増減率
丸亀製麺	128,142	127,000	+1,142	+0.9%
国内その他	35,412	33,000	+2,412	+7.3%
海外事業	104,674	105,000	△326	△0.3%
連結	268,228	265,000	+3,228	+1.2%

(注4)2024 年 11 月 14 日修正

(単位：百万円)

事業利益	2025 年 3 月期 実績	2025 年 3 月期 計画 (注4)	計画比	
			増減額	増減率
丸亀製麺	20,896	21,000	△104	△0.5%
国内その他	4,447	4,300	+147	+3.4%
海外事業	2,524	2,200	+324	+14.7%
調整額 (注5)	△9,662	△10,200	+538	—
連結	18,205	17,300	+905	+5.2%

(注5)調整額は各報告セグメントに配分していない全社費用です。

2. 減損損失について

2023 年7月に子会社化した英国 Fulham Shore 社は、英国を拠点にピザ業態“Franco Manca”と、ギリシャ料理業態“THE REAL GREEK”の2つの事業を展開しており、顧客体験価値、商品力、価格(Value for Money)などにおいて多くのお客様を感動させるポテンシャルを有しています。

今般、この英国 Fulham Shore 社の株式を取得した際に生じたのれんの一部について、2025 年3月期第4四半期に19億18百万円を減損損失計上することとなりました。足許の英国事業においては、人件費の上昇や、消費環境の悪化といったマクロ要因などの影響により、当初想定を下回る水準で利益が推移しました。こうした事業環境の変化を受け、企業価値の再評価に際し、資産性を多角的に精査した結果、同社の不採算店舗資産やのれんに関して減損損失を計上いたしました。

また、その他のエリアやブランドにおいても、各店舗を独立したキャッシュ・フローを生み出す最小単位と捉え、減損会計を適用して事業用固定資産の投資の回収可能性を判断しております。これらの取り組みは、収益性の低い資産の早期特定と、ポートフォリオの最適化を通じて、成長投資へのリソース再配分を促進するという戦略的意義も有しております。この結果、事業環境の変化等によって店舗の収益性が著しく低下した店舗資産については、減損損失を計上しております。

2025 年3月期通期連結減損損失の主な内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

セグメント	主なエリア	科目	減損損失額
丸亀製麺事業	日本	有形固定資産、使用権資産	642
国内その他事業	日本	有形固定資産、使用権資産	303
海外事業			7,122
	英国・米国・アジア	有形固定資産、使用権資産	4,171
	英国・欧州	無形資産およびのれん	2,951
合計			8,066

詳細につきましては、当社ホームページ (<https://www.toridoll.com/ir/>) 掲載の「2025 年 3 月期決算説明資料」を参照ください。

以 上